

ひろば大代

NO.318

大代公民館

H18.1.12

謹賀新年

昨年は大変お世話に
なりました

本年も宜しく

お願い申し上げます

平成十八年元旦



|| 新春特集 || 新春に寄せて

公民館館長 竹島 修

新年明けましておめでとうございませす。皆様には、お健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は、『都市とふるさとを結ぶ交流会』二十回記念大会、そして新大田市の誕生とさまざまな出来事がありました。私なりに頑張ったつもりですが至らないところも多々あった事と思えます。ご指導とご助力いただいた皆様方に御礼申し上げます。

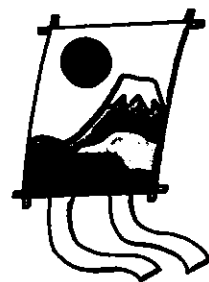
公民館も新市のスタートに伴う機構改革等のなか地域に根づいた公民館活動を行い、情報発信の拠点となるようスタッフ一丸となって頑張りたいと思っております。

皆さん公民館にきて下さい。活動に参加してください。意見を聞かせてください。よろしくお願い致します。

末筆になりましたが、皆様のご多幸とご健康を祈念致します。新年のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願いいたします。

新年の挨拶

東京石見高山会会長 今田 潔



大代町の皆様明けましておめでとう御座います。新しい年が皆様にとって明るく、健康で、素晴らしい年になるよう祈念致します。

今年が成年、世の中の動きが7倍の速さになるといわれる将にドッグイヤーとなりました。然しそんな年こそ、じっくり腰を据え、もう一度基本に戻りよく考えて誠実に行動する年としたいものと考えております。

というのも、昨年起こった耐震強度偽装事件を始め、世の中を騒がした数々の事件、出来事は全て効率性、合理性の追求という名のもとに余りに性急に利益を求めたり、自分の欲望を満たすだけの行動に走ったが故の基本的なモラル・誠実さの欠如に起因するものと思われるからです。

昨年12月私は国際親善協会のイン

ド経済事情調査団の副団長としてインドに行つて参りました。

11億弱の人口をもつインドの潜在力の大きさとI.C産業を率引力としてここ数年著しい経済成長を果たした実態を見てきました。其の一方でインド社会の光と影、貧富の差の大きさに驚きました。

今回の訪印でインド社会ではかなり裕福な階級に属すると思われる現地ガイドから次のような話を聴きました。『現在子供時代に比べれば物質的に豊かな生活をしているが、昔のような大家族で隣近所とも助け合いながらの生活の方が、精神的に満たされた生活が出来、安全上も遙かに優れていた』と言うのです。

“物質的豊かさのみで人は幸せにならない”この事をあらためて強く認識する旅となりました。

家族の絆、地域社会との絆を大切にしてお互いを思い遣り、尊重し合うという基本を忘れると荒んだ、犯罪の多い社会になるのではないだろうか。

故郷大代が強い連帯感でお互いに助け合いながら町の活性化に努めておら

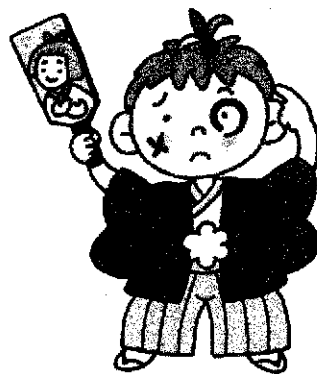
れるのを拝見し敬意を表すると共にこれこそ何よりの財産であり大いなる力になると考えます。

新年にあたり皆様に呼びかけたいと思います。

“お互いの絆を大切に！そして素晴らしい我が町大代に誇りと自信を持とう！”

新春に寄せて

関西高山会会長 田中公道



新年明けましておめでとうございませす。皆様にはお健やかに新春をお迎えの事とお慶びを申し上げます。

いつも関西高山会にご支援を頂いていただきますことに、心より厚くお礼を申し上げます。

第十五回関西高山会記念総会は、本年六月十一日(日)に開催致します。

今年には記念すべき節目の年に当たり

ますことから、故郷大代の皆様のご支援を賜りまして、関西高山会と大代高山会が一体となった盛大な総会・懇親会を開催させて頂きたいと、世話人一同張り切っております。記念イベントと合わせまして、私たちに幼い日の味覚を思い出させてくれる故郷物産展も開催させて頂きます。

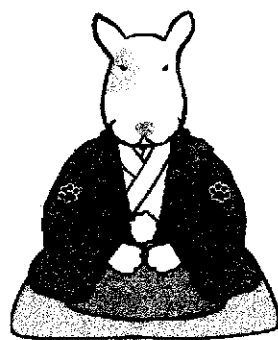
昨年は、日本の未来を暗示するような、目を覆うばかりの事件や無責任さが国を挙げて横行しました。国際化、市場化が進む中、お互いが信頼しあえる社会を取り戻す方法はあるのでしょうか、日本は信頼喪失国家になったのでしょうか、豊かさ引き換えに失った人の心と人間性、さらに人口自然減の始まった国の先行きに不安を覚えるこの頃です。日本はどこに向かえば良いのか、誰もが真剣に考えなければならぬ時期に來たように思えてなりません。

故郷を共有する人々の信頼の輪が大きく広がり、心豊かな社会にと願っています。

皆様のご多幸ご健勝をお祈りしまして新年のご挨拶とさせて頂きます。

新年の挨拶

大代高山会



新年明けましておめでとうございませす。お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

平素は、高山会事業に格別なるご理解と、ご協力を賜り衷心よりお礼申し上げます。

高山会も、二十一年目の新春を迎える事となりました。当初、「都市とふるさとを結ぶ交流会」の開催を目的として立ち上がりました「高山会」も、自然保護や、環境保全、地場産品直売所開設に於ける足がかり等々、ふるさと活性化のために活動する会として発展し、今に至っております。先達の皆様のご努力が、実を結び開花してきていると感じているところです。絶えることなく、花を咲かせ続ける事が出来

ればと願っております。

少子高齢化が進み、華やかだった時代の面影すらなくなりつつある昨今ではあります。が、「高山会」が、大代町の活性化審議会となり、町を絶やすことなく少しでも華やかだった時代に戻ることが出来ればと思えます。

夢のような話かもしれませんが。しかしながら、私たちの町は住んでいる私たちが守らなくては、誰も守ってくれません。いつも申し上げている事ですが、自己責任による自己防衛です。皆さんで知恵を出し合い、協力してこの町を守っていく。高山会はそう言う使命を持っている会ではないかと思えます。

私たちの子孫に、「華やかだった」と言う昔話でなく、華やかさそのものを残してやりたい。高山会の活動が、その一役を担えるように皆さんで、知恵と力を出し合いながら頑張りましょう。小さなことでも、重ねていけば大きくなります。引き続き皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

と、まあ、堅苦しく大きな話となり

ましたが、とにかくふるさと大代町のために皆さんで頑張りましょう。尚、六月には関西高山会十五周年総会がございます。決定ではございませんが、田植囃子や高山神楽社中の公演も予定されております。たくさんの方のご参加いただき、十五周年をお祝い出来ればと思えます。

また、高山登山・ハートフルロードの花壇整備・都市とふるさとを結ぶ交流化等々の高山会事業は基より、役員改選の年でもございます。皆様方には、色々とお世話になります。皆様の力を借りたく存じます。今年もよろしくお願い致します。

新春のご挨拶

婦人会会長 今田文子



明けましておめでとうございませす。

皆様 お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

去年は婦人会活動にご支援頂きましたこと深く感謝いたします。

殊に文化祭のバザーでは町民の皆さま、婦人会員の方、家族の方々の御協力により盛況に終える事ができました。

10月1日より1市2

町の合併による新大田市が誕生、この行政合併に伴い婦人会も合併をし、大田6地区 仁摩4地区 温泉津4地区計14地区で116名の大きな団体になりました。

11月11日、あすてらすに於いて、竹腰新市長様 小谷新議長様、外来賓の方々をお迎えして、合併設立総会が開催されました。大代から19名参加いたしました。新大田市連合婦人会の会長は、岩谷三恵子氏がなられて、挨拶に、婦人会は地域で生まれた社会教育団体である、地域に根づいた特色を生かした活動を、何が出来るか、どう取り組めばよいか、話し合う事である等お話



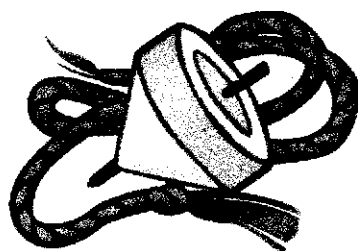
されました。来賓の方の祝辞にも、地域に根ざした活動を、改革の時代であるが合併して良かった、と思われる美わしい団結で、よりよい活動の発展を望むと、お話を頂きました。

大代婦人会も、お話を参考に平素の活動を、無理せず継続する事が大切だと感じました。今年も婦人会活動に、ご協力

ご指導の程よろしくお願い致します。

新春によせて

大代小学校校長 川神厚子



明けましておめでとございます。皆様、おそろいでよき年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、大代小学校に物心両

面にわたり温かいご理解・ご支援を賜り深く感謝しております。

さて、平成十七年は皆様にとってどんな年だったでしょうか。世の中は構造改革の名のもとに、様々な改革が行われました。

この大田市も遷摩郡と合併し新大田市として出発しました。一方、子どもを巻き込んだ事件も多発し、隣県での余りにも悲しい事件に実に心を痛めています。二度とこのような事件があってはならないと思います。

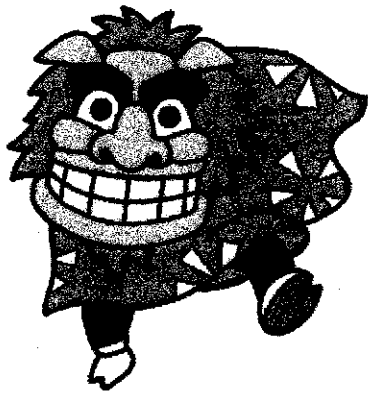
昨年、金子みすず記念館館長である矢崎節夫先生の講演を拝聴する機会を得ました。矢崎先生は『子どもは大人に希望を与えてくれる存在です。この地球上で、人類に新しい生命が誕生しなくなったら何十年か後には人類は消滅してしまいます。だから大切に育てたいのです。』と話されました。本当にそうだと思います。

子どもたちは『未来を支える地域の宝』です。その安全を保障するのは私たち、大人の役目です。しかし、

子どもたちの安全確保については学校のみでは限界があります。地域の皆様のお力添えが必要です。どうか、昨年同様、地域での温かい見守りをよろしくお願いいたします。

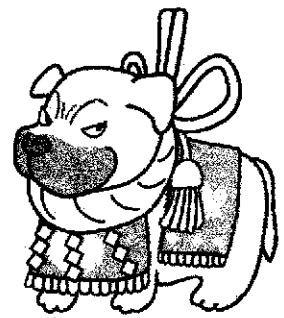
昨年、二十五名の子どもたちは、それぞれの持てる力を十分発揮し、運動面、文化面ともに大きな足跡を残してくれました。今年、本校は県へき地教育研究大会の会場校となります。『教育の原点はへき地教育にある。』との言葉どおり、小規模校の利点を生かし、子どもたちの能力を引き出すように、教職員一同、充実した支援をめざしたいと考えています。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



新年に希望を

寿会会長 日向 良



近年稀にみる厳しい寒波と大雪に見舞われながらも平成十七年も終りました。

昨年を振り返ってみると皆さんも記憶に新しいのが五月十八日に起きた戦後四番目と言われるJR福知山線の脱線事故であります。その為に多くの方々が犠牲になられ、JRの肝心の安全第一が空念仏になっていないか社会から厳しく叩かれました。

又世間を騒がせた大手業者による橋梁工事に絡む談合事件。そして稚い小学生児童の殺人事件。平気で人を殺すような卑劣な行為全く許せない。

国の外でも地震、津波に遭遇し大勢の犠牲者が出たり、加えて年末には耐震強度不足の建造物に關与したとの事

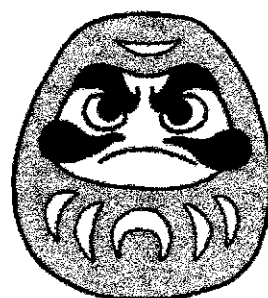
で非常に賑々しく報道され枚挙に遑がありません。

あれこれと不愉快な事ばかりでしたが本年こそ希望に燃える一年でありますよう祈念し、併せて寿会もお引き立て下さいますようお願いいたします。

私のわがまま

大代地区

社会福祉協議会長 高村 貢



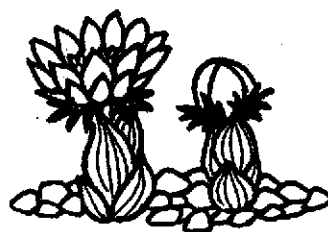
明けましておめでとうございます。皆様方良い新年を迎えられた事と思えます。

昨年は地区社協の活動につきまして皆様からご協力をいただき有難うございました。本年も変わリませず宜しくお願い致します。

今から、行政も苦しいかも知れないけれども、地区社協もそれ以上苦しくなると思います。

そこで私が思う所は、小さな事でも

相談しながら進めていく事が大事だと思えます。過去の事など改善する事は必要ですが、過去の事をもとに考えて行く事が大事だと思います。



新年の挨拶

大代消防分団長 坂本静雄

新年明けましておめでとうございませす。町民の皆様には希望に満ち溢れた輝かしい新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

新しい年の出発にあたり、ますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

また、平素より消防団活動に對しまして、ご支援ご協力に對し重ねて御礼申し上げます。

大田市消防団大代分団団長という大役を仰せつかり初めての新年を迎えま

した。あらためて責任の重さを痛感しておりますが、住民の皆様が安心安全に暮らせるよう地域防災に携わる消防団員が、技能訓練応急処置の方法等習得し、町民の皆様方の負託にこたえるべく微力ながら団員一丸となって全力を尽くす所存でございます。

ご存知のように、最近気象状況の変化に伴い大規模な地震、風水害など発生しております。災害はいつ起こるかわかりません。防災意識の高揚に努めて頂きたくお願い申し上げますと共に火の元には充分気をつけて頂きますようお願い致します。

「火災・自然災害」のない大代町であつてほしい事を願いつつ、新しい年が皆様方にとって幸多い躍進の年であります様祈念致しまして念頭のご挨拶と致します。



2月行事予定

▼12日(日) 福祉弁当

合同講演会

▼23日(木) 連合自治会
▼27日(月) 出張申告相談

場所 大代公民館にて
午前9時～12時まで

II 編集後記 II

編集委員が変われば誌面も変わるんじゃないか。

そんな理由で、交代で編集に携わるように決めたのだが、皆さんあまり冒険は好まないみたいで、結局はいつも通りの中身になっているようです。

さて、今月号。Yさんががんばってイラストが一杯です。表紙はカラーですが、やっぱり例年通りの挨拶特集号となっちゃいました。

誰もが興味を引く紙面となるよう、皆さんのお知恵を拝借させて下さい。編集委員を叱咤激励してください。どんどん、投稿して下さい。

ひろば大代、すっげえおもしろいで。そんな声が聞こえるようにがんばりたいと思います。

(H)